

Q & A (高校一般の部)

番号	質問	回答
1	パックのLEDは試合中に点灯しているか？	消灯している。
2	ソレイタとはどのような物か？	藤田産業(株)製のアルミ樹脂複合板。ソレイタはその製品名。
3	スティックの重さに規定はあるのか？	スティックに重量の規制は無い。
4	ロボットの体で相手のゴールを阻止してもよいのか？	よい。ただし、守備側ロボットが体に当ててゴールを阻止しようとしパックに接触したものの、そのままゴールに入ってしまった場合は、ゴールが認められる。
5	スティックを振り回してもよいか？また、振り上げてもよいか？	常に「スティックのブレード部分」と「ロボット」が 50mm 以上離れていれば、どちらも行ってよい。 なお、スティックそのものには、ロボットの大きさの規定は適用されないが、スティックとロボットとを接続している部分は、ロボットの大きさに含まれるため、スティックを振り回す行為や振り上げる行為等を行う場合には、その行為中もロボットの大きさの規定内となるよう注意すること。
6	シュート時にポインターで狙ってもよいか？	照準器（レーザーポインター等）を用いてもよいが、対戦相手や周囲の観客の目に入らないよう、十分に安全性に配慮すること。
7	スティックのブレード部分をパックに当てる角度は平行でなければならないのか？	パックへの接触角度に規定はないため、どんな角度でも問題ないが、パックをコントロールする際に、パックの側面部分以外に触れないよう注意すること。
8	スティックは1つの部材で製作しなければならないのか？	複数の部材を用いて製作してもよい。ただし、部材同士を接

		着させる部分に木材以外（金属等）を使用してはならず、接続部分が突起部分とならないよう注意する必要がある。また、接着剤等を用いる場合、スティックの表面に粘着性物質が露出しないよう注意すること。
9	スティックへセンサーを設置してもよいか？	スティックは木製である必要があるため、ロボットへ接続する目的以外で木材以外を使用してはならない。
10	反則時の再開場所はどこか？	原則として、反則が行われた場所。反則が行われた場所での再開が困難な場合は、審判がその状況により判断する。
11	転倒時の取り扱いはどうなるのか？	原則、ロボットは転倒しない構造とされているため、ロボットの転倒だけを理由に競技を中断することはない。 なお、接触等により転倒した場合であっても、タイムアウトの申告がなければ、競技はそのまま続行し、ゴールが成立するまで審判は競技を中断しない。ただし、双方のロボットが転倒した場合は、審判が競技を中断し、それぞれに指示を行い、競技を再開させる。
12	製作費に2万5千円以上使ってもよいか？	2万5千円以上でもよいが、支給される製作費は2万5千円まで。
13	「スティックのブレード部分以外及びロボットがパックに接触したままの状態をロボットを動作してはならない」とあるが、ロボットが接触したまま動作した場合のペナルティは何か？	パックがブレード以外（ロボット含む）に接触したまま動作した場合、ルールに違反しているため、規定により、中断及び再開が行われ、パックが相手ロボットに与えられることになる。
14	自コート側のクリーズには、自チームのロボットは進入してよいか？	自コートのゴール・クリーズへの進入は可能。

15	パックの側面部分にブレードを当てることで、パックをフィールド平面から離す、もしくはパックをひっくり返してもよいか？	<p>パックの側面部分にブレードを当てる等、規定どおりの行為によって、パックがフィールド平面から離れたり、パックがひっくり返ったとしても、これらの行為そのものはルール違反ではない。が、パックはホバークラフトと同様の原理で動作しているため、パックがひっくり返ると正常に動作しない。</p> <p>よって、規定により、審判が競技の進行に支障があると判断した場合、中断・再開の対象となる。</p> <p>また、上記の行為を繰り返し、故意に競技の進行を遅らせていると審判が判断した場合、遅延行為により反則となる可能性がある。</p>
16	ブレードの断面を斜めにしてもよいか？	ブレードの断面形状についての規定はないため、スティックの規定の大きさ以内であれば、どのような角度でもよい。
17	競技開始時にフェイスオフ・サークル上の空間に、ロボットを進入しない状態で、スティックを進入してもよいか？	よい。スティックはロボットの大きさ等の規定には適用されず、進入禁止の規定には抵触しないため、相手ゴール側のゴール・クリーズも同様の扱いとなる。
18	ルールブック 6 ページ、4-5-2「スティックのブレード部分以外及びロボットがパックに接触したままの状態では動作してはならない」とあるが、ロボットが接触したまま動作した場合のペナルティは何か。	パックがブレード以外（ロボット含む）に接触したまま動作した場合、ルールに違反しているため、4-7-1 の規定により、中断及び再開が行われ、パックが相手ロボットに与えられることになる
19	自コート側のクリーズには、自チームのロボットは進入してよいか。	自コート側への進入は可能。
20	パックの側面部分にブレードを当てることで、パックをフィールド平面から離す、もしくはパックをひっくり返してもよい	パックをひっくり返す行為そのものが悪いわけではないが、パックはホバークラフトのような原理で動作しているため、パ

	か。	<p>ックがひっくり返ると正常に動作しない。</p> <p>よって、4-7-2 の規定により、審判が競技の進行に支障があると判断した場合、中断・再開の対象となり得る。</p>
2 1	ブレードの断面を斜めにしてもよいか。	構わない。
2 2	競技開始時にフェイスオフ・サークル上の空間に、ロボットを進入しない状態で、スティックを進入してもよいか。	構わない。
2 3	ルールブック 7 ページ、4-7-1「パックは相手ロボットに与えられ」とあるが、自チームロボット、相手ロボット、パックの状況はそれぞれどうなるのか。	<p>中断した場所が相手コートなら、自コートまで下がる。中断した場所が自コートなら、50cm以上離れる。</p> <p>パックは中断した場所からの再開となる。</p> <p>【改正後のルールブックをご確認ください】</p>